

## 夏の参議院選挙 「市民＋野党」の共闘で 安倍改憲・増税ストップ、くらしに希望を

日本共産党は12日、第6回中央委員会総会を開き、参院選に臨む方針を確認しました。

志位和夫委員長は報告で、今回の選挙は日本の命運がかかった選挙と位置付け、消費税10%増税を中止し「暮らしに希望を一３つの提案」・8時間働けば普通に暮らせる社会を・暮らしを支える社会保障をお金の心配なく学び、子育てができる社会をと提起。32ある改選数1の1人区について、「早期の野党統一候補の実現のために全力を尽くす。他の野党候補、無所属候補でも選挙区事情を踏ま

え、応援して、勝利を目指す」と述べ、候補者調整を急ぐ考えを示しました。

これまで共産党は、候補者を降ろす条件として相互推薦・支援が必要としてきましたが、志位氏は総会後の記者会見で「推薦を出すのが一番の強い形だが、そこまでいなくても、状況に即して勝つために効果的な支援を目指したい」と語り、相互推薦にこだわらない方針を明らかにしました。

32選挙区のうち熊本、新潟などで野党統一候補の擁立が決まっています。



「輝け9条・生かそう憲法」とアピールする参加者=3日、水戸・千波公園



記念講演するリラン・バクレー監督

5月3日、水戸・千波公園で「いかそう憲法」の力（憲法はウソも戦争も許さない）をスローガンに掲げ

た「憲法フェスティバル2019」が開かれ1200人が参加しました。集会では「日本国憲法を次の世代に引き継ぐ努力を続けよう」とのアピールを採択。安倍政権を許さず、憲法を生かそうと決意を固めあいました。記念講演は「NOX年 憲法が変えられた日本」と題して映画「ザ思いやり」の映画監督で日本在住のリラン・バクレー

氏。過去の戦争を例に「一度始めれば止められないのが戦争の実態」と述べ、憲法9条を何としても守り、戦争する国にしてはいけな

## 5月3日、72回目の 憲法記念日

# 憲法はウソも戦争も許さない 2019 憲法フェスタ



## 憲法を守る訴えに激励

### 市議団と上野前県議

72回目の憲法記念日を前に、5月2日、市内各所で街頭宣伝を行いました。

交代でマイクを握り、「憲法9条を守り、安倍政治からの転換を、消費税増税中止」とそれぞれ訴えました。田植え中の人や通行中の車などから手振り声援が寄せられました。

## 「～議員と語ろう現在と未来～」 市民との意見交換会(取手市議会主催)

5月11日(土)の午前、ウェルネスプラザで行われた意見交換会に31名の市民、中には高校生や大学生などの参加もありました。内容は常任委員会ごとに分かれて第1部は各テーマごとに、総務文教「いじめ問題」、福祉厚生「ひきこもり支援」、建設経済「生涯現役ネット」について、第2部は各委員会で、それぞれに関心のあることについてフリーテーマで活発に意見交換しました。

「対話形式での意見交換は議員との距離も身近に話が出てよかった」「市民の声をよく聞いて活動してほしい」など

参加してよかったという意見がたくさんアンケートでも寄せられました。

日時や会場、手法についての改善案も出され、「もっと時間をかける」「地域ごとに開催」「月2回に分ける」「議会も出前をする」など市民の声や地域の実情を議員は積極的につかむことを望む意見が多く出されました。今回は参加者も多く、市民のみなさんの率直な意見が議員に届いた企画となり、会場は終始賑やかな雰囲気です。市民の声をしっかり生かす議会の運営が求められます。



議員と車座で意見交換 11日、ウェルネスプラザ



# 市長選は終わった でも「いじめ自死事件」も「市長接待疑惑」も終わっていない

市長の京都祇園での接待疑惑は残されたまま、中学校でのいじめ自死事件が争点の一つとしてたたかわれた4月の市長選挙は、藤井信吾氏が4選を果たしました。しかし、取手の二大出来事は終わったわけではありません。

**隠ぺい 偽造 改ざん**

## 政権の問題で片づけられぬ市の隠ぺい体質

### 市教委違法の議決 市調査委全資料を廃棄

「いじめによる重大事態ではない」との教育委員会の違法な議決（2016年3月）で設置された「市教委調査委員会」は、「委員会は解散を」の両親の要求と文科省の指導により1年余で解散。調査関係資料のすべてを廃棄しました。市に代わり調査した県調査委員会は報告書で「調査の記録は公文書」、「廃棄は断じてあってはならない」と断罪しました。

### 「市長接待疑惑」調査委もデータ消去

「市長が利害関係者の接待受け補助金支出か」の疑惑解明を求めた調査請求により、2月25日、取手市政治倫理審査会（戸田進会長）開催。審査会は、会議は公開とする条例に違反し、非公開を議決する前から非公開で、市長と利害関係者との会食

は「政治倫理条例違反に当たらず」としました。3月4日議会全員協議会での審査会議事録の提出要求に対し市は、「音声データは消去した会議録が議事録がわり」と答えました。

### 民主主義の根幹壊す違法な文書管理改めよ

国は公文書を「健全な民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源」として、諸活動を「現在及び将来の国民に説明する責務が全うされるようにすること」を目的として公文書管理法を制定。その法の下に地方自治体は文書管理条例（取手市は規則）を定めています。文書管理は、「市民の知る権利を保障することで、公正で民主的な市政の推進を図る」とする情報公開制度の目的を達成するためのものであり、行政機関の政策能力向上のために必要不可欠な制度です。

日本共産党は、公正で開かれた民主的市政の基本となる情報公開と文書管理制度の改善拡充につとめます。

## 市民と議員で学ぶ 市政政策学習会・パート2

### 「地場産業の再生と安全・安心・災害に強いまちづくり」

党市議団主催の市政政策シリーズ学習会2回目は、5月13日取手友愛プラザで標記のテーマで開かれ、関戸勇市議の報告と提案に基づいて党内外の参加者から活発な意見交換が行われました。

#### 商・工業

商業の衰退で町なか商店の閉店、高齢者など買い物の困難さ、商店が子どもの見守りや地域のコミュニティの支えを無くす現状から、商店街を守る他市の取り組みの例などが紹介されました。関戸市議は、商店や商工会、行政と地域住民団体などの参加による検討会など知恵を出しあい「中小企業や小規模商店振興条例」制定や、店舗の改装や住宅改修などに適用する制度を作ることを提案。行政の支援を強め市内の工務店などの仕事を確保し、地域経済の好循環につながる対策など話し合いました。



活発な意見交換が行われた＝13日友愛プラザ

#### 農業

取手市内の農地は藤代地域などに広大に広がり、市民の安心な食の提供とともに、環境を守る貴重な役割を果たしています。今、農家の経営は国の政策等により深刻な事態となっている現状に、「若者が農業を担えるよう」思いきった施策を打ち出すことや、「地産地消」を大事な柱に位置付けた総合的な対策を検討することなど、参加者からも提案されました。

#### 安全・安心・災害に強いまち

街灯（防犯灯）の設置基準の見直しや、計画的な歩道も含む道路の改修。大地震への備えや洪水対策などで、行政が被害を想定したハザードマップを基に地域に出かけ、対応について、みんなでみんなの命を守ることなど住民が主人公の街への取り組みなど意見交流が行われました。

### 日本共産党の提案

- \* 中小企業振興基本条例、住宅店舗リフォーム助成制度の創設
- \* 新規就農者支援制度の創設、地産地消の抜本的・総合的な取り組みの推進
- \* 大型開発優先政策を改め、明るく・安全・快適な生活基盤整備優先への転換を求めます